【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第３区分
【発行日】平成17年6月30日(2005.6.30)

【公開番号】特開2003-141653(P2003-141653A)
【公開日】平成15年5月16日(2003.5.16)
【出願番号】特願2001-335853(P2001-335853)
【国際特許分類第７版】
　Ｇ０８Ｂ　17/107
【ＦＩ】
　Ｇ０８Ｂ　17/107　　Ａ

【手続補正書】
【提出日】平成16年10月15日(2004.10.15)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
回路基板の外面側を覆う裏カバーと、該回路基板の内面側を覆うケースと、該裏カバーに設けられた係合部の係止穴と、該ケースの内筒に設けられ、前記係止穴に係脱する係合部の突起部と、を備えた火災感知器であって；前記係合部の回動ストレス解除手段を備えていることを特徴とする火災感知器。
【請求項２】
前記係合部の回動ストレス解除手段が、裏カバーの内面に立設され嵌合溝を有する回り止め片と、該ケースの内面に立設され、前記嵌合溝に係脱される回り止め突起と、から構成されていることを特徴とする請求項１記載の火災感知器。
【請求項３】
ケースに設けられた内筒と、該内筒上に載置されて前記内筒とともに、回路収納部を形成する裏カバーと、該回路収納部に収納される回路基板と、前記裏カバーの外面に設けられ、前記回路基板と接続される刃金具等の接続端子と、を備えており、前記裏カバーの外周に係止穴を持つ複数のフック部を突設し、該フック部に相対した前記内筒の嵌合位置に、前記係止穴に係脱する突起部を設けるとともに、前記裏カバーの外周に嵌合溝を持つ複数の回り止め片を突設し、該回り止め片に相対した前記内筒の嵌合位置に、前記嵌合溝内に挿入挟持される回り止め突起を設け、前記内筒と前記裏カバーとの回動を防止することを特徴とする火災感知器。
【請求項４】
突起部が、先端から基端に向かってテーパ状に高くなっていることを特徴とする請求項３記載の火災感知器。
【請求項５】
筐体を構成する裏カバーとケースと、該裏カバーを貫通し、テスト用端子が挿入される端子挿入孔と、を設けた火災感知器であって；前記端子挿入孔の先端部に、前記テスト用端子の外周部を覆う覆い部を設けたことを特徴とする火災感知器。
【請求項６】
筐体内に形成された回路収納部と、該回路収納部に収納されるテスト用端子を備えた回路基板と、前記筐体の背面に凸設して形成され、前記テスト用端子を覆う凸部と、前記テスト用端子の端面の外周部を覆い、中央を開口する前記凸部に設けられた覆い部と、を備えていることを特徴とする火災感知器。

【請求項７】
前記凸部に前記筐体の背面へ通じる傾斜路が設けられていることを特徴とする請求項６記載の火災感知器。
【請求項８】
前記筐体の背面は、その中央部をその周辺部よりも高くして段状とし、該中央部に前記凸部を設けたことを特徴とする請求項６、又は、７記載の火災感知器。
【請求項９】
ケースに設けられた内筒と、該内筒上に載置されて前記内筒と共に回路収納部を形成し、その中央部をその周辺部よりも高くして段状とした裏カバーと、前記ケースの内筒の外周上に形成された水抜き穴と、を備えたことを特徴とする火災感知器。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００８】
【課題を解決するための手段】
この発明は、回路基板の外面側を覆う裏カバーと、該回路基板の内面側を覆うケースと、該裏カバーに設けられた係合部の係止穴と、該ケースの内筒に設けられ、前記係止穴に係脱する係合部の突起部と、を備えた火災感知器であって；前記係合部の回動ストレス解除手段を備えていることを特徴とする。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００９】
この発明は、前記係合部の回動ストレス解除手段が、裏カバーの内面に立設され、嵌合溝を有する回り止め片と、該ケースの内面に立設され、前記嵌合溝に係脱される回り止め突起と、から構成されていることを特徴とする。
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１０】
この発明は、ケースに設けられた内筒と、該内筒上に載置されて前記内筒とともに、回路収納部を形成する裏カバーと、該回路収納部に収納される回路基板と、前記裏カバー外面に設けられ、前記回路基板と接続される刃金具等の接続端子と、を備えており、前記裏カバーの外周に係止穴を持つ複数のフック部を突設し、該フック部に相対した前記内筒の嵌合位置に前記係止穴に係脱する突起部を設けるとともに、前記裏カバーの外周に嵌合溝を持つ複数の回り止め片を突設し、該回り止め片に相対した前記内筒の嵌合位置に前記嵌合溝内に挿入挟持される回り止め突起を設け、前記内筒と前記裏カバーとの回動を防止することを特徴とする。この発明は、突起部が先端から基端に向かってテーパ状に高くなっていることを特徴とする。
【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１１
【補正方法】変更
【補正の内容】

【００１１】
この発明は、筐体を構成する裏カバーとケースと、該裏カバーを貫通し、テスト用端子が挿入される端子挿入孔と、を設けた火災感知器であって；前記端子挿入孔の先端部に、前記テスト用端子の外周部を覆う覆い部を設けたことを特徴とする。
【手続補正６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１２】
この発明は、筐体内に形成された回路収納部と、該回路収納部に収納されるテスト用端子を備えた回路基板と、前記筐体の背面に凸設して形成され、前記テスト用端子を覆う凸部と、前記テスト用端子の端面の外周部を覆い、中央を開口する前記凸部に設けられた覆い部と、を備えてことを特徴とする。
【手続補正７】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１３】
この発明は、前記凸部に前記筐体の背面へと通じる傾斜路が設けられていることを特徴とする。
【手続補正８】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１４】
この発明は、前記筐体の背面は、その中央部をその周辺部よりも高くして段状とし、該中央部に前記凸部を設けたことを特徴とする。
【手続補正９】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１５】
この発明は、ケースに設けられた内筒と、該内筒上に載置されて前記内筒と共に回路収納部を形成し、その中央部をその周辺部よりも高くして段状とした裏カバーと、前記ケースの内筒の外周上に形成された水抜き穴と、を備えたことを特徴とする。